

## 生産量が北海道で一番の当別町のユリをご紹介します

今回は北海道石狩振興局から北海道で生産量が一番の当別町のユリについてご紹介します。

### 🌸当別町のユリの実産量は北海道で一番です

当別花卉生産組合ユリ部会会員の方が生産するユリは、北海道で一番の実産量と品質の高さを誇っています。

平成23年度の実産量は、236万本で北海道内の市町村で第一位です。

また品質面においても、道内各地から多数出品される「北海道切り花品評会」において、最近の5年間ユリによる受賞者は、全て当別町の生産者であり、当別町のユリの品質の高さは折り紙付きです。

### 🌸農林水産大臣賞を受賞しました

平成24年度の「北海道切り花品評会」で最高賞の農林水産大臣賞を受賞したのも当別町の生産者、木屋路喜代史さんが出品したユリの花です。受賞された木屋路さんは、「花づくりをはじめて29年。まだまだ日々勉強です。日本中が花で笑顔になれることを願っています。」と語っておられます。



平成24年度「北海道切り花品評会」農林水産大臣賞 マルコポーロ

木屋路さんが農林水産大臣賞を受賞したユリは、花の流通業界関係者から「木屋路さんが受賞されたユリは、お花の大きさ、花卉のウェーブ、品格高く染められた桃色、花と雌雄のバランス、どれをとっても素晴らしい仕上がりに。」と極めて高く評価されています。

**🌸当別町花卉生産組合会員の方が多数入賞しています**

木屋路さんのほかにも、当別町花卉生産組合会員の方が切り花品評会で多数入賞していますので、入賞した大変見事なユリの数々をご覧ください。



シベリア(平成 22 年)



イエローワイン(平成 21 年)



フランス(平成 21 年)



ビビアナ(平成 22 年)

**🌸ユリ部会長の中田恵一さんにお話をおうかがいしました**

このように生産量が全道で一番の当別町のユリについて、当別町花卉生産組合ユリ部会長の中田恵一さんをお訪ねし、お話をおうかがいしました。

現在のユリの主流品種は、白い花がシベリア、リアルト、ピンクの花はソルボンヌなどとのことです。

シベリアは、有名なカサブランカに置き換わる品種で、北海道の冷涼な気候に合って作りやすく、花もちが良いのが特徴で、ユリは、涼しい気候では成長するのに日数がかかりますが、その分花もちが良いそうです。

このため、気温が高い夏場はハウスを開放して、露地に近い環境にするなどして対応しています。

ユリの標準的な規格は、長さが90センチ、花が5、6輪のもので、花が大きく茎がしっかりしたものが上等とされており、会員の方はこれを目指して栽培しています。

また、丈夫なユリを生産するための工夫として、あらかじめ球根から芽を伸ばして植えたり、ハウスの中に蒸気を送って土壌を消毒して根張りを良くするなどの工夫をしているそうです。



ハウスの中で出荷間近のユリ

中田部会長のハウスの中で出荷間近のユリ

**🌸 当別町のユリは全国各地に出荷されています**

当別花卉生産組合のユリは、2月頃から球根が植えられ、6月から11月いっぱいトラック便や航空便で全国各地の市場に出荷されています。

生産者が「花で笑顔になれる」ことを願い、日々丹精して育てている当別町のユリを、この機会に身近に感じていただき、お手に取っていただけることを願っています。

(平成24年10月取材 石狩振興局農務課)